

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新業)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)市営桜の宮住宅建替事業(2)	階数	地上8F
建設地	兵庫県神戸市北区甲栄台二丁目14	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	179人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2021年10月11日
敷地面積	3,308 m ²	作成者	(株)長谷エコーポレーション 大塚
建築面積	695 m ²	確認日	2021年10月11日
延床面積	3,948 m ²	確認者	(株)長谷エコーポレーション 大塚エンジニアリング事業部 電井 昌裕



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 3.1 ★★★★★★</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 4.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6</p>

3 CASBEE神戸の重要項目		
<p>バリアフリー計画</p> <p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p> <p style="text-align: right;">4.0</p>	<p>建築物の耐震性等</p> <p>Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振</p> <p style="text-align: right;">3.0</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p> <p style="text-align: right;">3.0</p>	<p>まちなみ・景観への配慮</p> <p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p> <p style="text-align: right;">5.0</p>
<p>配慮の概要</p> <p>兵庫県「福祉のまちづくり条例」に適合している。</p>	<p>配慮の概要</p>	<p>配慮の概要</p> <p>住棟の分節(雁行や色彩の色分け)・階数抑制(ヒューマンスケールの創出)を行いまちなみや景観に対して配慮している。また住棟の分節(雁行や色彩の色分け)・階数抑制(ヒューマンスケールの創出)を行いまちなみや景観に対して配慮している。</p>
<p>その他の配慮事項</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい